

COLUMN: 先生紹介 ▶ 岸田 圭滋 (今福教室・関目教室)



カイチの仲間になりました

みなさん、初めまして。今年の11月から開智総合学院で働くことになりました岸田圭滋です。

私は19歳の時に出会った塾講師のアルバイトから、人に勉強を教える面白さと難しさを経験しました。それ以来、塾講師という職業の虜になりました。今年で39歳になり、さまざまな生徒と出会ってきました。私が常に心の中に持ち続けている、生徒への思いが3つあります。

【小さな悩みでも先生に相談しよう】

例えば、自分はあの子と比べてこの教科が苦手だと感じているとします。定期試験の点数や模擬試験の偏差値がもしも低くても、その現実に向き合い、卑屈になるのではなく、何としてでも追いついて見せるという気持ちが大切です。

さまざまな壁にぶつかり、落とし穴にはまり、も

がき苦しむこともあるでしょう。スケジュールシートで計画を立て、予定通りに進まずにイライラすることもありますが、ここで大切なのは周りにいる先生達に相談してみることです。小さな悩みでもかまいません。先生や友達の他愛もないメッセージからヒントが見つかるかもしれません。そのために3週間前からテストの準備をする意味があるのだと思います。

【素直な気持ちを持つ】

勉強を通じて何かを学ぶ時は、自分自身の心の持ち方で大きくスタートに差が出ます。一流のスポーツ選手で最初から上手な人はいません。小さな練習の積み重ねがその選手を作っています。もちろんコーチや監督からアドバイスをもらう時に、自分の弱点を教えてくれる人の気持ちを素直に受け止められる人は、成長しやすいです。

『カイチ流学習方法』は、たくさんの先生方が時間をかけて作り上げています。各教科の勉強をどうすればよいか悩んでいる人は、まず素直な気持

ちで真似してみましょう。定期テストで点数が取れている人は、普段からの勉強でも素直な気持ちで努力しているのだと思います。

【ありがとうの気持ちを忘れないでほしい】

あいさつができる人は、将来いろいろなシーンで役立ちます。中でも「ありがとう」は常に口に出して言う習慣をつけておきましょう。作問依頼で問題を作ってもらったときにも、一言先生に「ありがとう」と言ってみてください。忙しい時間を縫って作ってくれた先生の気持ちを考えられる人になってほしいです。また、塾に通わせてもらって当たり前だと思っていないですか。毎月授業料をいただき、みなさんに勉強を教えています。我々も各家庭への「ありがとう」の気持ちを忘れずに持ち続けていかなければいけません。そのために、お預けいただいた大切なお子様の成長の一助になれるように、努力していきたいと思えます。

みなさんに顔を覚えてもらうために、主に今福教室と関目教室にいます。岸田先生の顔を見たら、声をかけてください。これからよろしくお願ひします。



シルバのちょっとイイ話

TEACHER'S VOICE

シルバ・メデリン (トーキングキッズ)

盛り上がったハロウィン!

ハロウィンは'All hallows' Evening'や'All hallows Eve'(聖人たちの夜)の短縮形です。毎年10月31日に世界中で注目されており、ハロウィン前の金曜日もしくは土曜日に行われるパーティに参加したり、火を灯して幽霊屋敷を訪れたり、怖い話をしたり、ホラー映画を見るなどして楽しめます。本来は、子供達がこの日はモンスターや幽霊、骸骨、魔女などの不気味なハロウィン衣装を着て、家から家へ「お菓子をくれなさい、いたずらするぞ」と訪れます。(トリック オア トリート)

ハロウィンは普通どれくらいの期間お祝いするのでしょうか。1日それとも2日?カイチではなんと2週間もハロウィンを体験しました。これはおそらく最も長いハロウィンを祝う期間だったと思います。このハロウィンレッスンを通して生徒達が英語を学ぶことを好きになってくれるのが目標でした。だから日本人講師と外国人講師が協力して、楽しく有意義なレッスンを考えました。子供達は仮装

することだけではなく、英語を学ぶことも楽しみます。子供達の英語のレベルに応じてクラス分けをしていたので、初心者の子供達にとっても十分有意義なレッスンになったと思います。また、このハロウィンレッスンはトーキングキッズ生だけでなく、お友達も招待できたのはとても良かったと思います。

生徒達がお気に入りの仮装をしているのを見るのはとても面白かったです。思っていたとおりはじめはみんな恥ずかしがっていましたが、レッスンに参加していくうちに、楽しくなってきました。恥ずかしさから興奮に変わっていききました。ゲームを楽しんだり、英語を話している彼らの笑顔を見るのは、本当に最高でした。ジェスチャーゲームや伝言ゲーム、ビンゴなどのゲームの中で生徒達はわくわくしながら答えが何なのかを考えていました。これらのゲームを通して生徒達は人前に立つ恥ずかしさを克服することができたのではないで

しょうか。チームメイトにハロウィンキャラクターの名前をささやきながら最後の人名までつないでいき、一番先にその名前を叫んだチームが勝ちという伝言ゲームでは、みんな素晴らしく速かったです。「Are you a monster?」のように教えられた文法を使って取り組んだビンゴゲームも大いに盛り上がりました。生徒達は英語を使ってゲームをすることにとっても満足している様子でした。楽しく刺激的なレッスンであった今回のハロウィンレッスンは間違いなく大成功でした。このハロウィンレッスンは生徒達にとって毎年楽しみにしているイベントとなっています。



- 12月19日(木)・20日(金)は中学診断テストを実施します。 ■12月23日(月)は小学診断テストを実施します。
- 12月21日(土) はクリスマス会です。時間についてはお知らせを配布します。当日、得点券をお持ちください。
- 珠算・バスカルキッズ・トーキングキッズは年内の授業は12月23日(月)で終了となります。
- 小学部の冬期講習を12月26日(木)~28日(土)、1月5日(日)・6日(月)で実施いたします。
- 中学部の冬期講習を12月25日(水)~28日(土)、1月5日(日)~7日(火) で実施いたします。
- 進研模試を1月11日(土)、小4生 9時30分~11時、小5・6生 9時30分~12時20分、中1・2生 13時15分~17時15分 中3生 9時~13時で実施いたします。

カイチからのお知らせ

生徒と保護者と先生の共育ニュースレター

Growing

December 2019

Vol. 88

毎月10日発行

【本 部】
城東区今福西2-1-8モデラートWASHIMI 201
TEL.06-6939-0008

【今福教室】 城東区今福西 2-9-20 TEL.06-6934-4662	【今福第2教室】 城東区今福西 2-16-8 TEL.06-6931-2000
【諸口教室】 鶴見区諸口 4-14-9-1F TEL.06-6912-3984	【関目教室】 城東区関目 4-6-17-2F・3F TEL.06-6934-8117
【今津教室】 鶴見区今津南 1-6-2-1F TEL.06-6167-9722	【古市教室】 城東区古市 3-21-8 TEL.06-6931-0467
【カイチ予備校】 城東区今福西 1-10-17 TEL.06-6935-2220	【エニグマ】 中央区谷町 9-4-5-3F TEL.06-6777-1563
【万緑会】 天王寺区上本町 6-9-10-3F TEL.06-6772-5011	



高木 秀章(塾長)

私が思う受験校決定で最も大切なこと

早いものでもう12月。師も走る師走というぐらいですから、カイチの先生も珠算競技大会に冬期講習準備と大忙しですが、今月最も大切なイベントは受験生の三者懇談会です。この懇談会で生徒達の受験校が決定します。

今回のGROWINGでは受験校決定の際に、とても大切だと私が考えていることについてお伝えしたいと思います。

通常、受験生達が目指す志望校の殆どは自分の実力よりも1ランク上もしくは、ギリギリのラインです。そして、受験生の大半がそのような受験をくぐり抜けて合格を勝ち取っていきます。

この12月の三者懇談は、そのような状況の生徒や保護者に、どこを受けるかを決めてもらう懇談会になります。現状だと少し偏差値は足りない、不合格になるのは怖い傷つく。でもこの学校に合格するために今まで勉強を重ねてきた。このまま突き進むか、諦めるか。とても難しい判断です。塾でもできる限りの相談に乗りまし、ご家庭でも大いに話し合っていただけだと思います。でも、最後は必ず本人が「ここへ行く。この受験校で勝負する。」と覚悟を決めて欲しいと私は考えています。

今まで私は多くの受験生の「覚悟」を見てきました。

私が数年前に指導したM君は高津高校が第一志望でした。成績は2学期グングン伸びましたが、他教科が悪く2学期で内申点が大幅に足りない。私はかわいそうだけど高津高校合格は難しいと判断し、その代わりに彼の今までの努力にふさわしい、私立高校を探して、ご家庭との三者懇談に挑みました。彼に「この内申で高津を合格した生徒はいない。その代わりに専願でこのような学校がある。条件も申し分ない。どうだろう?」と話すと、彼はしばらく黙って「この学校に併願で合格できたら高津合格を受けてもいいですか。それなら悔いは残りません。」と言いました。彼は不合格になる恐怖と志望校への思いの両方と向き合い、それらを飲み込んで前に進むと本気で覚悟したのです。

その後、彼はその私立高校に併願で合格、そして高津高校にも見事合格しました。

多くの受験生が、不合格というリスクと向き合い、それでもなお志望校を受験するのかという覚悟を問われます。そして、志望校に勝負するのでもそうでない場合でも、進んだ先で力強く歩いていくためには、それが自分の決められた道であり、そこで頑張るという本気の覚悟が必要です。覚悟を決めた生徒達の顔は、どこか静かで、凜として大人びてきます。それは、もう自立して巣立つ日が近いシグナルです。

子供が小さいとき、私達親は子供の全ての世界を把握することができました。タオルケットがないと眠れないことも、にんじんが嫌いなことも。でも、子供が大きくなると共に親が見えない世界がどんどん広がり、高校生になるともはや、把握できない世界が殆ど全てになってしまいます。

そう、子供達は思春期を経て確実に大人へと成長しています。

私は高校受験は子供から大人への登竜門のような意味があるのではないかと考えています。最後は自分で覚悟を決めて受験校を決定する。そうすることで、不合格のリスクを自分で背負う。これからの進路も自分が選んだ道と自分で責任を持って歩む。そうして、徐々に広がり、もはや親が見守りきれない世界を自立した大人として生きていくのだと思います。

そのように考えると、高校受験は親にとって、子供に関われる最後の共同作業になるかもしれません。思春期の子供達ですら難しいところもあるかもしれませんが、是非、子供達と進路を相談し、彼らが本気の覚悟を決め努力する様子を、温かく見守り、支えていただけたらと思います。

私達も全員が合格し笑顔で春を迎えられるよう、全力で生徒達とご家庭を支える所存でございます。

今年のGROWINGもこれで最後です。1年間本当にありがとうございました。今、技術の進歩の中で、私達を取り巻く環境は急速に変化しています。全てが便利でスマートになり人々との関係がどんどん希薄になる中で、私達カイチは、昭和な「ええ塾」であり続けたいと考えています。「人は人に磨かれる」人を磨くにはあまりにも未熟な私達ですが、精進努力を続けてまいります。何卒宜しくお願いいたします。

皆様、良いお年をお迎えください。

諸口教室の3時間自習にお邪魔しました!



▲みんな集中してます。



▲職員室でみんなでお昼ご飯!



▲待合スペースも、もはや教室!!!



▲廊下も、もはや教室!!!

Focus

CLASSROOM REPORT 教室レポート



古市教室 競技大会特訓!!

川西 久志 (今福・古市教室)

こんにちは。今回は教室紹介の記事ということで私川西が古市教室の様子をお伝えさせていただきます。年末が近づいてきているこの時期はそろばん教室は競技大会に向けて練習を積んでいる時期です。珠算部以外の方に簡単に競技大会の内容をご紹介します。

競技大会は総合競技(プリント競技でそろばん、暗算問題が1400点満点で教室対抗・また、個人賞として最高得点賞を一人選ぶ)、読み上げ算競技(講師が読んだ問題をそろばんで置く)、読み上げ暗算競技(講師が読んだ問題を暗算で置く)で競います。

そこには毎年必ず脚光を浴びる選手が出てきます。練習により急成長を遂げ、入賞を果たす生徒。自分の得意分野で1位を取る生徒もいます。

個人的に一番面白いのは読み上げ算や読み上げ暗算で、実力が拮抗し、お互い一步も譲らない一騎打ちを見せてくれる選手同士の緊迫感がいいですね。ミリ単位の繊細さが求められるので、ほんの少しでも負けると泣いてしまいます。周りも自然に注目し、その子達だけの世界がしばらくで上がる感じです。

今年もそういう名勝負を作り上げるために、選手たちに練習をさせています。最初は暗算2桁5口ができなかった生徒が1週間後にはできるようになったり、1年生で1兆の桁

の名前知らなかった生徒が次の授業で置けるようになっていたりかなりの成長を見せています。



今年を読み上げ算は7~18桁のマイナス算(0より小さくなります)10口で1位を決めることが予定されていますが、この記事を書いている時点(11月25日)ですでに合せている生徒がいます。私が入社し、競技大会に参加した時の桁数は兆の桁くらいだったはずですが、今では桁はバラバラで100万から10京円を10口でしかもマイナス算付きなので、もはや読んでいる私も彼らがどうやって合せているのかわかりません(笑)。これは暗算でも同じで今回はおそらく4~7桁か5~8桁のマイナス算で勝負がついているはず。5~8桁とは1万~1000万の位なので、それを暗算でやるのだから本当にすごいと思います。

低学年の生徒達も負けてはいません。そろばんの競技大会練習プリントを時間内に全部やってしまう生徒がすでに2人出ています。暗算を鍛えていけばほぼ満点まで行きそうな勢いです。大会本番までにはできる生徒がまだ増えそうです。暗算も日に日に成長し、先週1桁暗算で苦労していた生徒が、今は2桁暗算をどんどん置いていきます。3桁暗算が間に合いそうな感じです。古市生は今年も優勝を目指し階段を一つ一つ登っていきます!



毎年やっていて思うことは、ステップを踏んでいけば一見不可能だということも時間をかければできるということです。私自身がそろばんの生徒達が今の桁数に挑戦するということを数年前までは思っていませんでしたが、今ではそれは当たり前になっているどころか、むしろできないとだめだという雰囲気になってきています。だから、今は出来なくても、必ずできるようになると伝えるようにしています。そしてそれを実現できるようにこちらも日々研鑽を重ねていく当たり前のことを徹底していこうと思っています。

ただ、そろばんの読み上げ算は難易度を上げようにもはや書籍が市場に出回っていないので、どうしようかと思っていました(笑)。

22,519,376-95,987.0035 74,500x0.000967

1,206x3,209 1,823,760÷2,235

2,947,003+318,899



Education

KAICHI'S ACTIVITY カイチの教育



冬期講習 ~復習を万全にして新学年のスタートを~

坪田 陽一 (諸口教室)

いよいよ年の瀬となりました。毎年恒例のカイチの冬期講習が、25日よりスタートします。

まず、小4~中2までは、ポイントをまとめた講習会用のテキストを使い、これまでの復習を行います。ここで、そもそもなぜ復習する必要があるのかを整理しておきたいと思います。「何で講習会に行かなあかんの?」そんな風に聞いてくるお子様に答える時の参考にしてください。2つあります。

①苦手の発見、克服

すでに学習済ですが理解不十分な箇所を、一通り振り返ることで発見し、学習し直します。人間は自分にはどうしても甘くなりがち。「後でいいや」とついつい先延ばしにしたりして、結局ほったらかしにしていること、大人でもありますよね。子供ならなおさらです。これはクラスのいわゆる「できる子」も例外ではありません。一見分かっているようでも、「何で?」と理由を聞いたり、「じゃあ〇〇なら?」と条件を少し変えて質問したりすると、ポロが出ます。そういった「穴」を発見するには、短期間に一回通して復習するのが効率的。この冬休みは絶好の機会という訳です。

②知識の整理、定着

理解が十分できている単元でも、繰り返し学習することでより理解が深まり、問題を解くスピードも上がります。例えば、初めて迎える道は、「途中で何が分かるか分からない」「目的地までど

のくらい分からない」「そもそもちゃんとどり着けるのか」そんな様々な不安を抱えつつ行くわけですから、とりあえず目的地までどり着くので精一杯。しかし二度、三度と同じ道を辿ることで、不安は払拭され、よりスムーズに目的地に辿り着けたり、周囲の景色を見る余裕が出てきたり、はたまた寄り道する余裕まで出てきたりします。学習においても同様で、一度学習した内容も繰り返すことで知識が整理され、その結果、より早く解答を導けるようになってきたり、他の単元とのつながりが見えてきたり、単元の内容をより深く理解することができたりします。

教科や単元にもよりますが、苦手教科なら①、得意教科なら②を重視して復習に取り組んでほしいと思います。特に、最終的にトップ10校を狙いたいというお子さんは、①でとどまっていたのでは不十分です。テストという限られた時間で成果を出すには、基本的な問題が「分かる」「解ける」ではなく「スラスラ解ける」までにならないといけません。そうやって稼いだ時間で、思考力が必要な問題に腰を据えてじっくり取り組む必要があるからです。

中学2年生までのお子様には、この冬を有効に使って復習を万全にし、新学年でのスタートがスムーズになるよう、学習に取り組んでほしいと思います。大事なものは「イン

プット」よりも「アウトプット」。問題をどんどん解いて、苦手を発見、克服し、知識を整理してより確実なものにしていきましょう。

さて、何といたっても入試を直前に控えた中学3年生が冬期講習の主役です。年が明ければすぐに学年末テスト、また2月10日には私立高校の入試を控え、いよいよ切羽詰まってきました。

志望校合格の実力をつける為の学習は十二分にしてきましたが、ここでさらにもう一押し、入試問題等を使って時間配分や問題の取捨選択の練習を行い、実力が点数に結びつくようにしていきます。一日に70分授業を4コマという長丁場となります。特に生活のリズムが乱れがちな年末年始、体調をきちんと整えて塾の授業に臨んで欲しいと思います。また12月29日~1月4日まではお休みとなりますが、その間も生活や学習のリズムを崩すことのないよう、ご家庭での過ごし方にくれぐれもご注意ください。

ライバル達がすでにラストスパートをかけている中、ここでペースを落としてしまうとあっという間に置いて行かれます。ここからは「志望校合格!」という強い気持ちを持ち続けることが一番大事。何かあればすぐ先生に相談して下さい。共に最後まで走り抜けて笑顔でゴールしたいと思っています。

